

史料保存利用問題シンポジウム

東日本大震災から一年、 資料の救済・保全の在り方を考える

日時：2012(平成24)年6月23日(土) 13:30～17:30

場所：学習院大学 南3号館 201教室

開会挨拶：木村茂光（日本学術会議会員 帝京大学教授）

報告

青木 睦（国文学研究資料館研究部准教授）

「文化財等レスキューにおける
被災行政文書の復旧活動と今後の課題」

永井康雄（山形大学地域教育文化学部教授）

「文化財建造物の被災調査と
復旧・復興に向けての官民協働」

岩崎真幸（みちのく民俗文化研究所代表）

「「伝承」という資料のゆくえ—原発事故被災地からの報告—」

閉会挨拶：高埜利彦（日本歴史学協会会長 学習院大学教授）

主催：日本歴史学協会・日本学術会議史学委員会

後援：全国歴史資料保存利用機関連絡協議会・日本アーカイブズ学会